

公共交通に関するアンケート調査結果

第4回 新見市地域公共交通会議

令和4年1月6日

1. 住民アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査対象

市内の全世帯を対象に地域割りをしたうえで無作為抽出した 3,000 世帯

② 配布・回収

配布・回収ともに郵送

③ 実施時期

令和 3 年 8 月実施（8 月 31 日回収締切）

④ 調査内容

- 回答者属性（居住地、年齢、世帯構成、職業、普段の運転の有無等）
- 普段利用する交通手段
- 運転免許の保有状況（運転免許証の有無、返納について、返納した際の懸念事項）
- 普段の外出について（外出先、頻度、交通手段）
- バスの利用について（備北バス、市営バス、市街地循環バス「ら・くるっと」）
- 公共交通を利用しない理由
- 市営バス・市街地循環バス「ら・くるっと」の満足度
- 新見市の公共交通に関する意見・要望

⑤ 配布数：3,000 件

⑥ 回収数：1,388 件（回収率 46.3%）

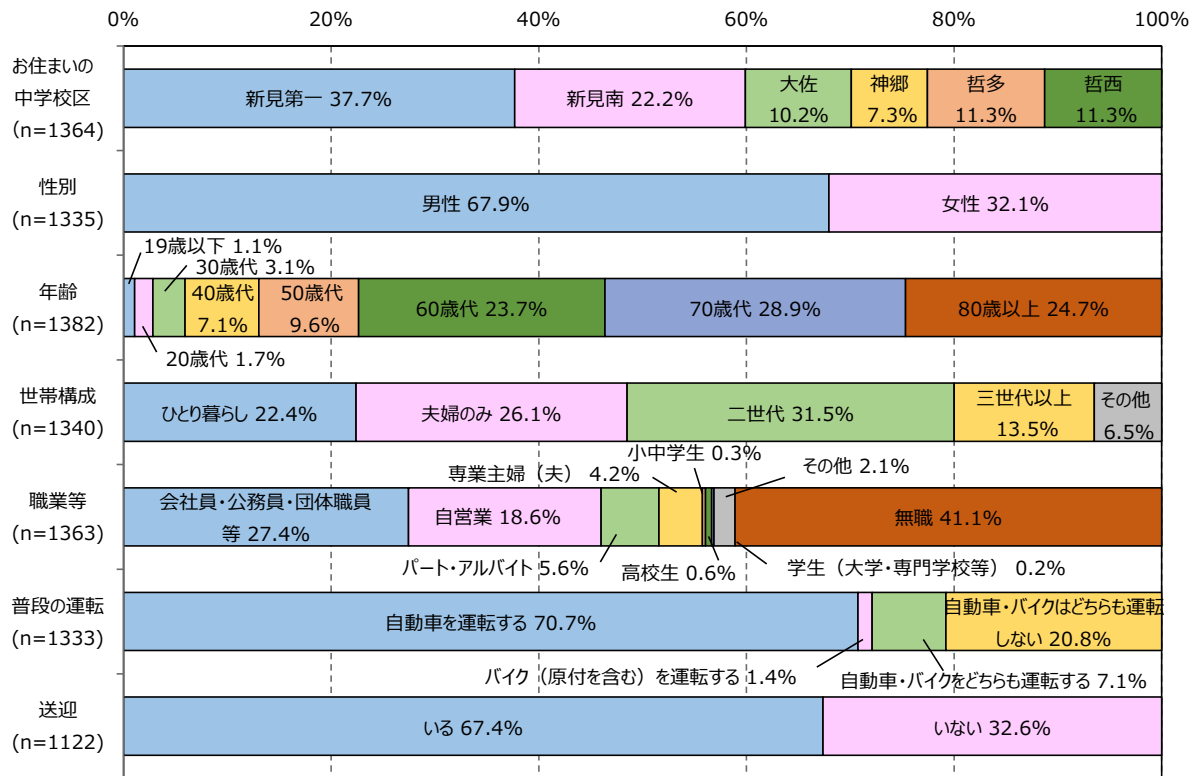
⑦ 集計値の留意点・その他：

- 各項目は未回答を含めずに集計。
- 択一回答、限定複数回答設問における規定数以上の回答、対象者限定設問における対象外の回答は無効として集計。
- 調査結果におけるパーセント表示は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも 100%とならない。

(2) 調査結果

① 回答者の属性

- 回答者の67.9%が男性で、77.3%が60歳代以上である。
- 20.8%の人が自動車・バイクをどちらも運転しないと回答しており、32.6%の人が気兼ねなく送迎を頼める人がいないと回答している。



② 普段のお出かけの交通手段

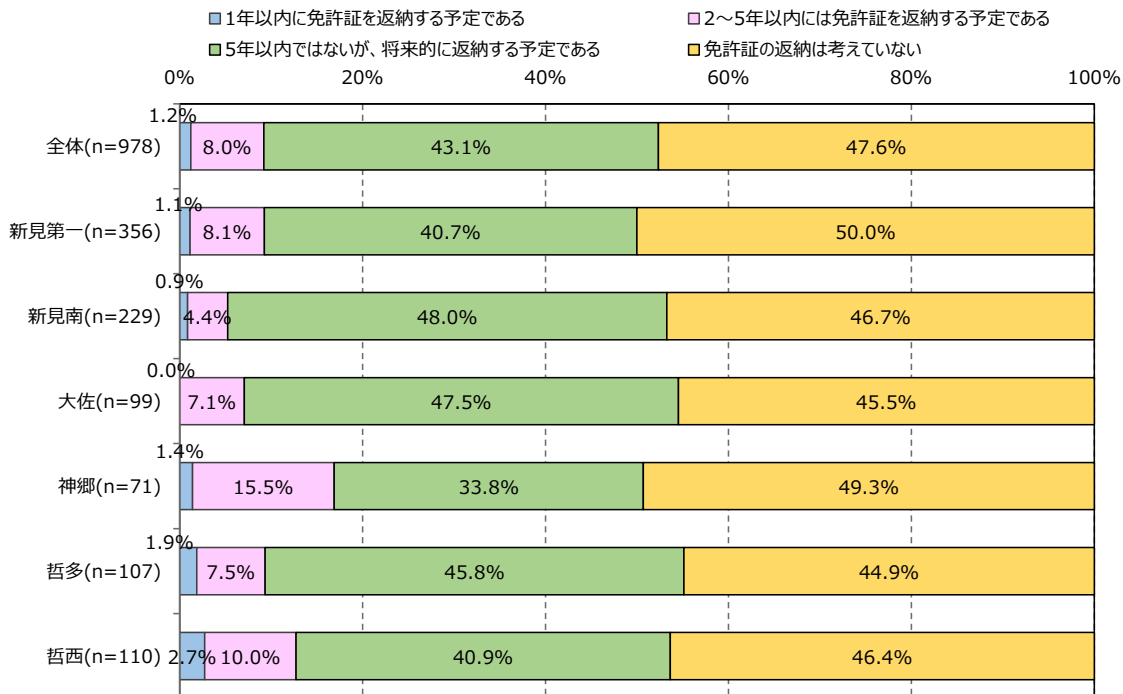
- 全ての中学校区で「自分で運転する車」の割合が最も高く、次に「家族・知人が運転する車」の割合が高い。
- 新見第一の「タクシー」、神郷の「市営バス」「鉄道」、哲西の「鉄道」の割合が、他の中学校区と比較して高い。

| | 全体 (n=1383) | 新見第一 (n=513) | 新見南 (n=303) | 大佐 (n=138) | 神郷 (n=100) | 哲多 (n=154) | 哲西 (n=154) |
|-----------------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| 自分で運転する車 | 74.5% | 72.9% | 79.5% | 76.8% | 72.0% | 73.4% | 76.6% |
| 家族・知人が運転する車 | 43.5% | 43.5% | 42.2% | 44.9% | 46.0% | 49.4% | 39.6% |
| バイク(原付を含む) | 4.6% | 4.7% | 4.6% | 2.9% | 4.0% | 8.4% | 2.6% |
| 自転車 | 10.6% | 17.7% | 6.9% | 5.1% | 8.0% | 5.8% | 7.1% |
| シニアカー(1人乗り電動車) | 1.3% | 1.2% | 1.7% | 0.7% | 0.0% | 0.6% | 3.2% |
| 備北バス(路線バス) | 11.8% | 13.5% | 10.9% | 7.2% | 9.0% | 9.7% | 11.7% |
| 市営バス(路線バス) | 6.9% | 5.7% | 3.3% | 4.3% | 20.0% | 8.4% | 8.4% |
| 市街地循環バス「ら・くるっと」 | 8.2% | 13.5% | 9.2% | 0.7% | 5.0% | 3.2% | 1.9% |
| ふれあいバス | 1.7% | 1.0% | 1.0% | 0.7% | 0.0% | 6.5% | 1.9% |
| タクシー | 13.1% | 20.1% | 8.3% | 5.1% | 11.0% | 11.7% | 9.7% |
| 鉄道(JR) | 12.2% | 10.1% | 9.9% | 12.3% | 24.0% | 2.6% | 26.0% |
| 福祉タクシー | 0.5% | 0.2% | 1.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.9% |
| 福祉移送サービス | 0.6% | 0.6% | 0.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.9% |
| 高齢者福祉施設等の送迎車 | 2.9% | 1.4% | 3.3% | 4.3% | 4.0% | 1.9% | 6.5% |
| スクールバス | 0.2% | 0.0% | 0.0% | 0.7% | 2.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 0.9% | 0.4% | 1.0% | 0.7% | 1.0% | 0.6% | 2.6% |

③ 運転免許証

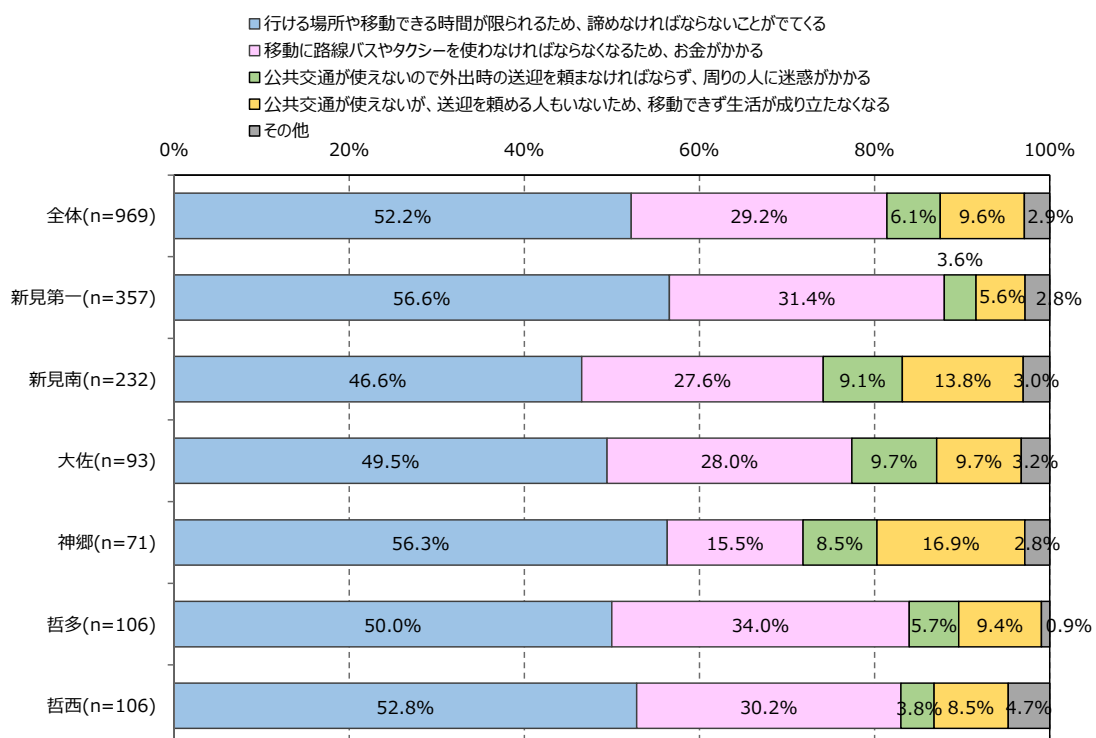
【返納意向】

- 全体のうち 9.2%の人が 5 年以内に返納する予定があると回答している。
- 神郷・哲西は他の地域に比べて 5 年以内に返納する予定があると回答した人の割合がやや高い。



【返納した場合の懸念事項】

- どの地域も「行ける場所や移動できる時間が限られるため、諦めなければならないことがでてくる」と回答した人の割合が高い。
- 新見第一・神郷は「公共交通が使えないが、送迎を頼める人もいないため、移動ができずに生活が成り立たなくなる」と回答した人の割合が他地域と比較してやや高い。

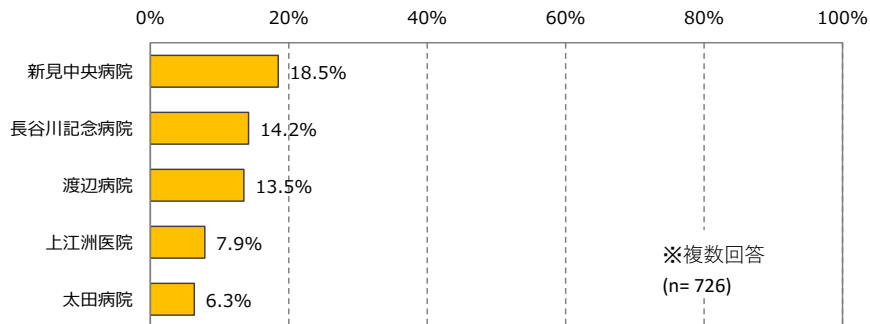


④ 普段のおでかけ先

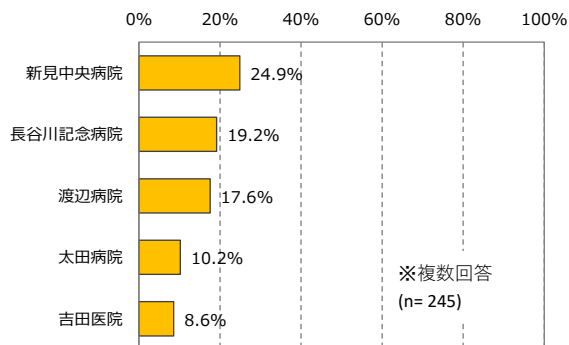
【通院先】 ※回答割合が高い順に5施設ずつ掲載、黄色い網掛けは市外の施設

- 大佐と哲西は地域内の医療機関を挙げた人の割合が最も高いが、その他の地域は新見市中心部の医療機関を挙げた人の割合が高い。
- 大佐・神郷・哲西では、隣接する真庭市、鳥取県日南町、広島県庄原市の医療機関も回答されている。

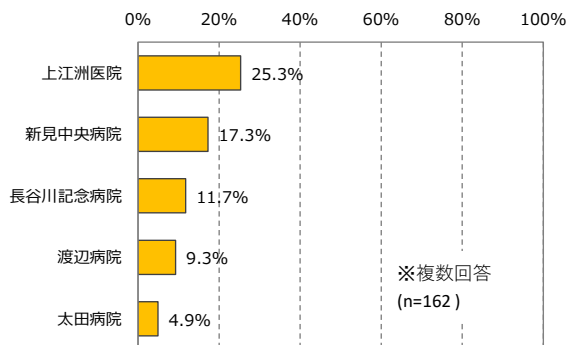
○全体



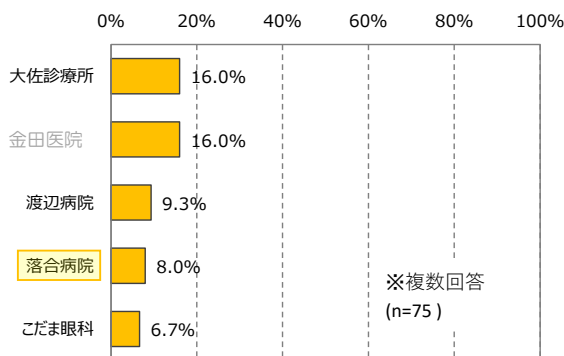
○新見第一



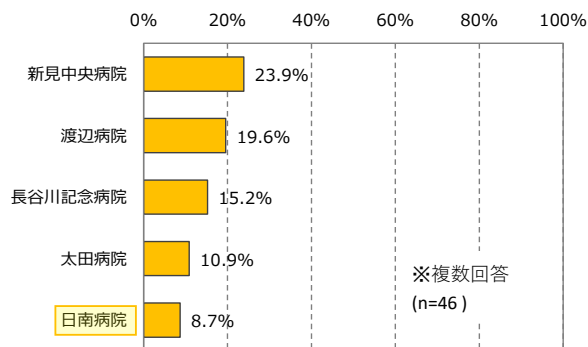
○新見南



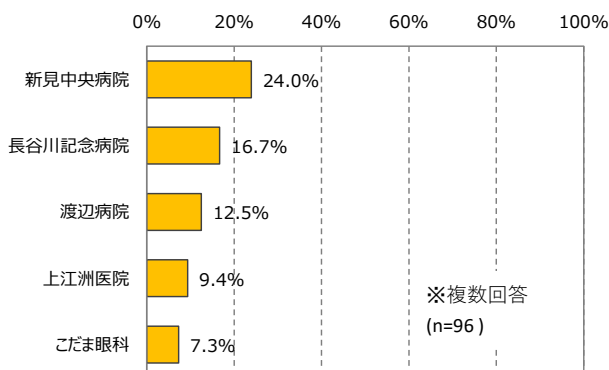
○大佐



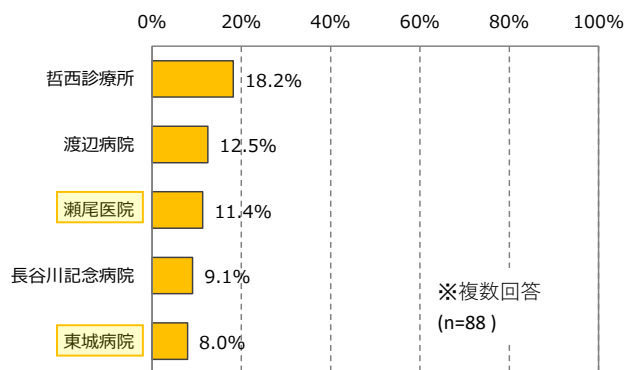
○神郷



○哲多



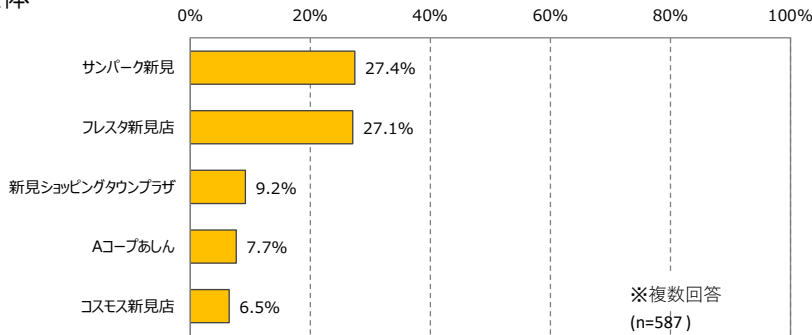
○哲西



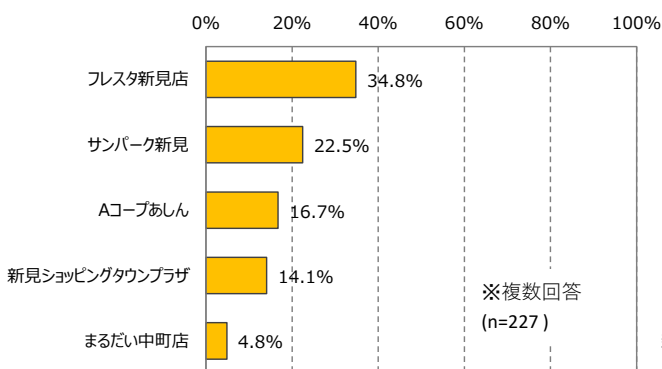
【買い物先】 ※回答割合が高い順に5施設ずつ掲載、黄色い網掛けは市外の施設

- 大佐は地域内の商業施設を挙げた人の割合が最も高いが、その他の地域は新見市中心部の商業施設を挙げた人の割合が高い。
- 新見南・哲西では、隣接する真庭市、広島県庄原市の商業施設も回答されている。

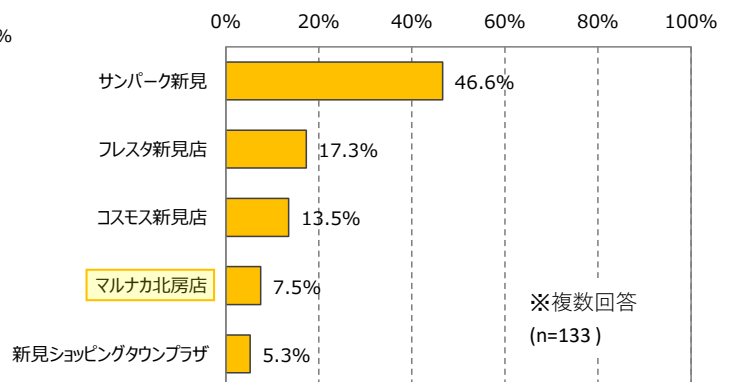
○全体



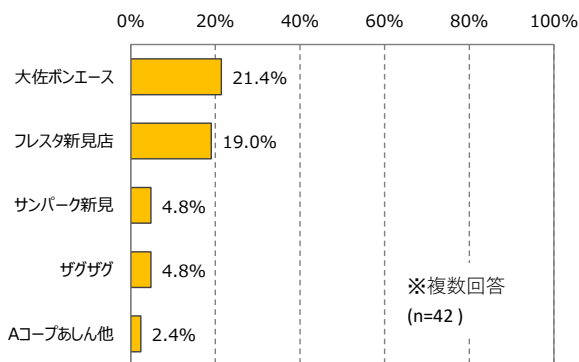
○新見第一



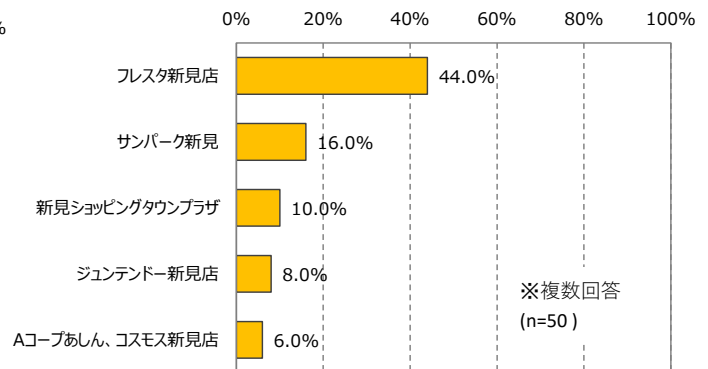
○新見南



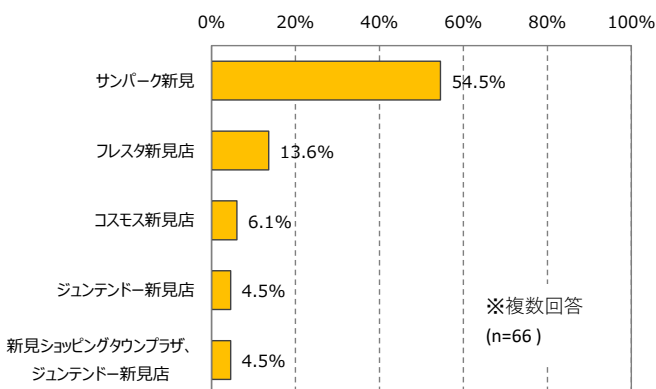
○大佐



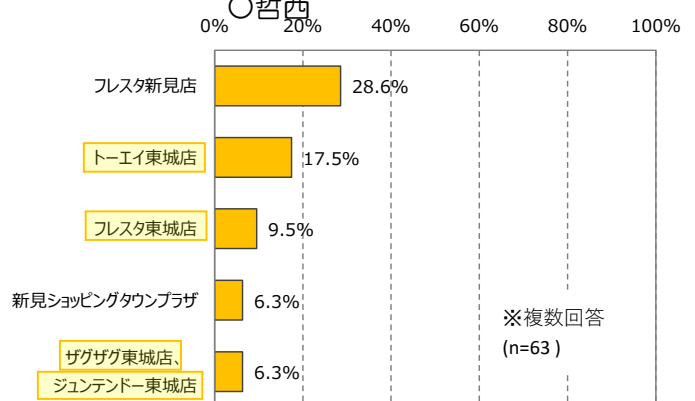
○神郷



○哲多



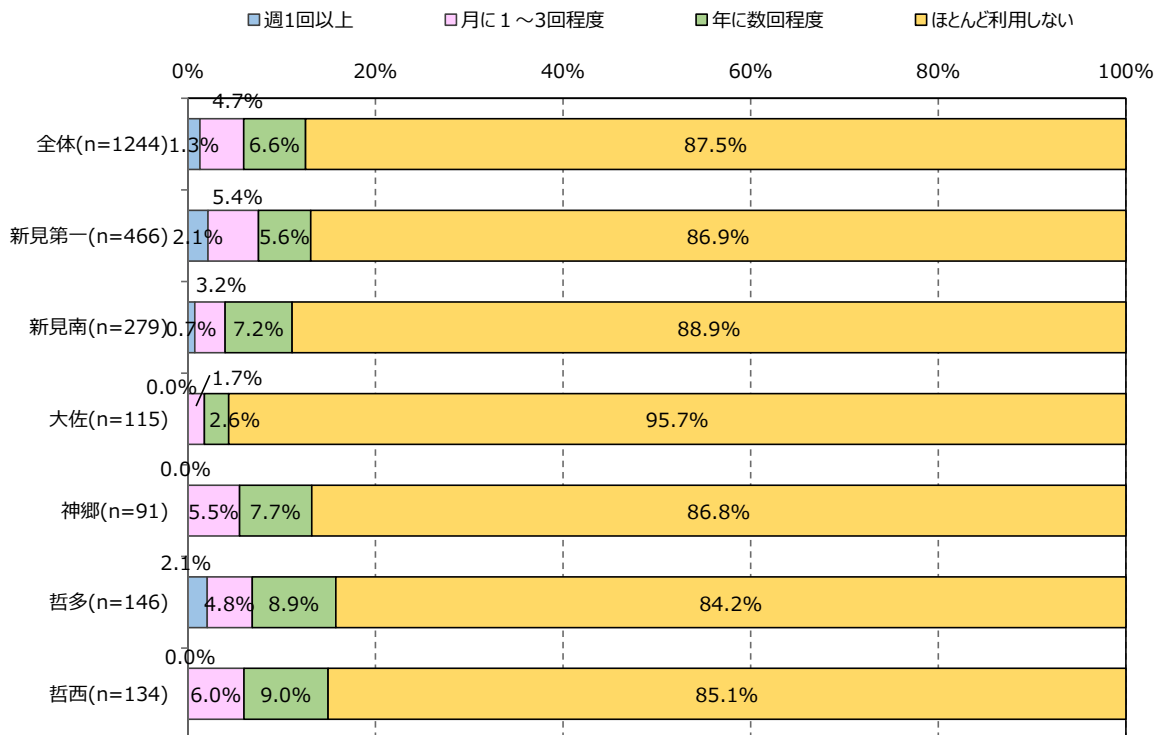
○哲西



⑤ 公共交通の利用頻度

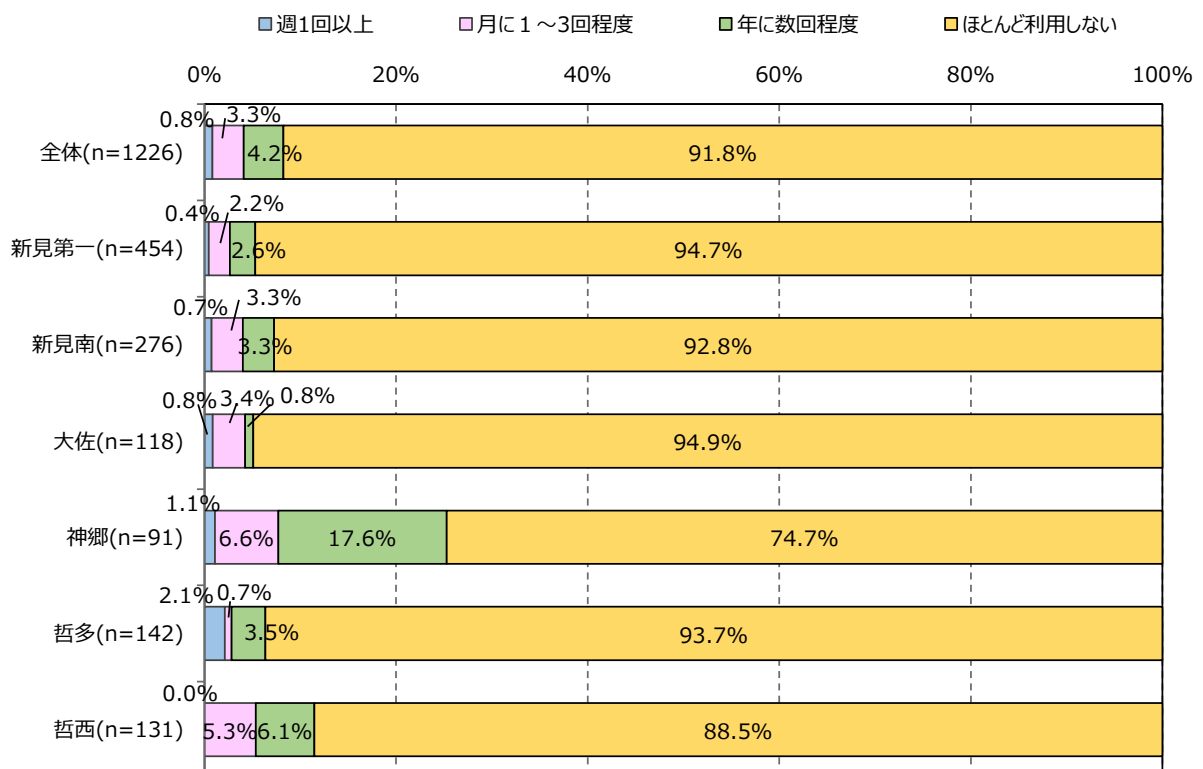
【備北バス】

- 全体のうち 12.5%の人が備北バスを利用している。



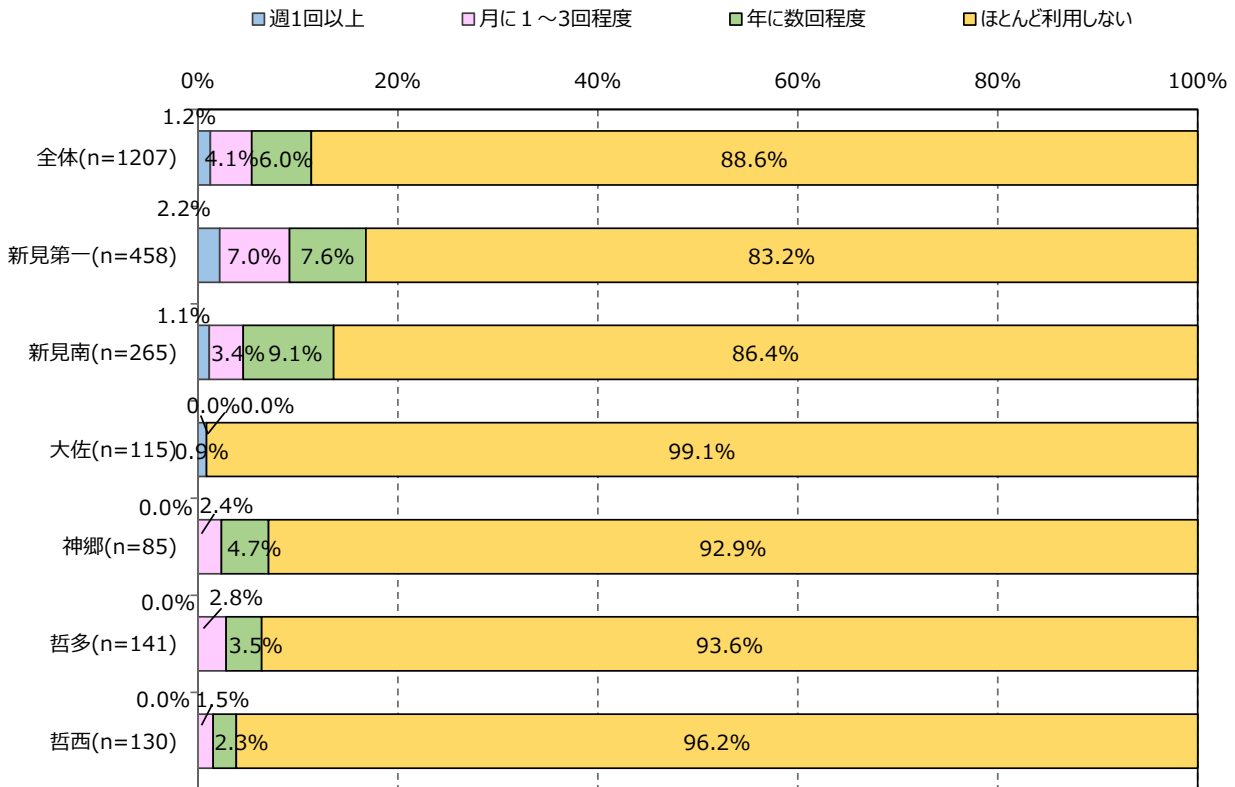
【市営バス】

- 全体のうち 8.2%の人が市営バスを利用している。
- 神郷では 25.3%の人が市営バスを利用しており、年に数回程度利用する人の割合が 17.6%となっている。



【市街地循環バス「ら・くるっと」】

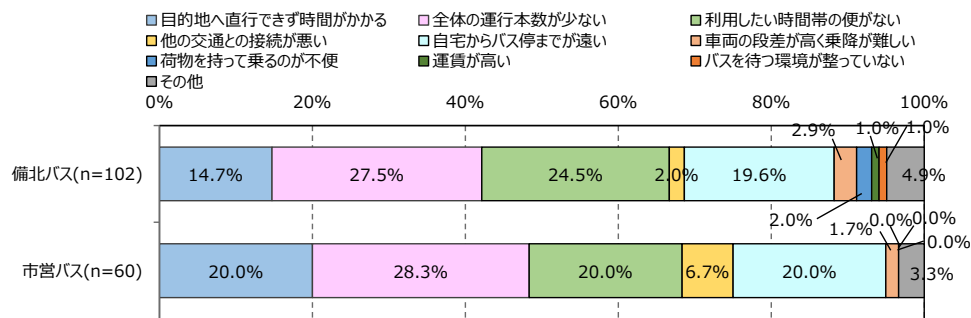
- 全体のうち 11.4%が市街地循環バス「ら・くるっと」を利用している。
- 新見第一・新見南以外の中学校区についても、1~7%程度の人が利用している。



⑥ 公共交通について、最も不便に感じる点

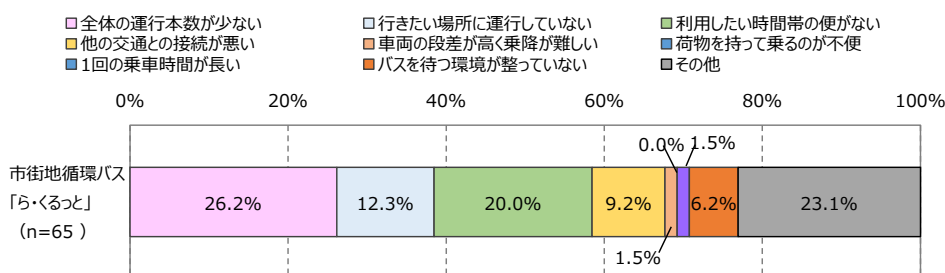
【備北バス・市営バス】

- 備北バス・市営バスともに全体の運行本数が少ないと回答した人の割合が最も高い。



【市街地循環線「ら・くるっと」】

- 全体の運行本数が少ないと回答した人の割合が最も高く、次いで利用したい時間帯の便がないと回答した人の割合が高い。



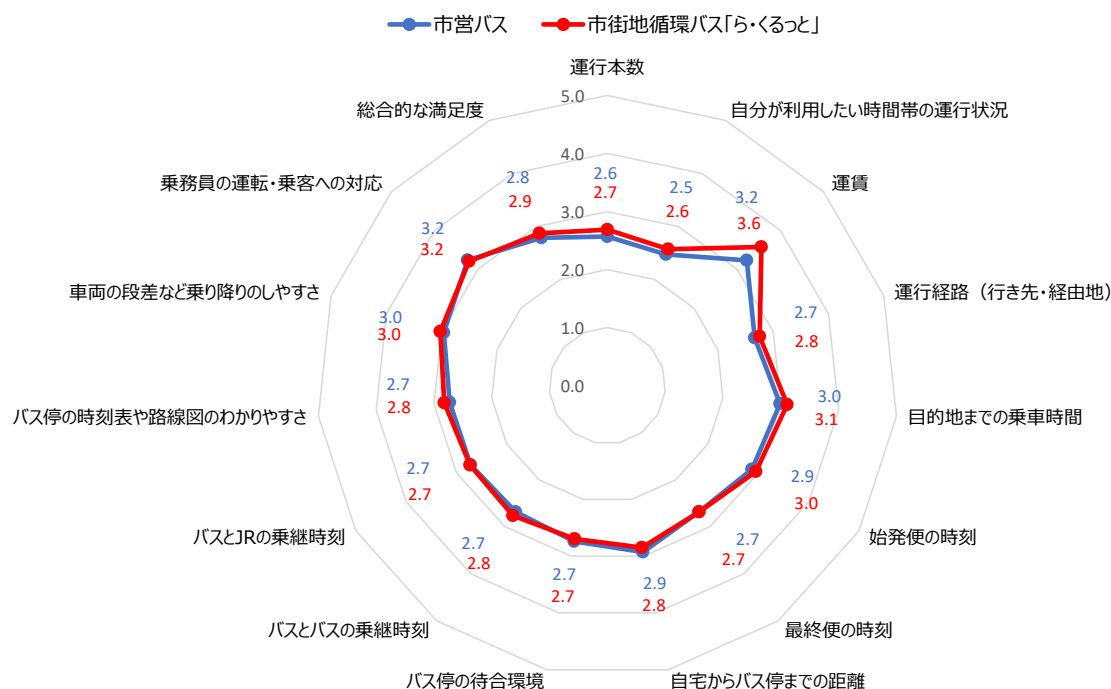
⑦ 公共交通を利用しない理由

- 全ての中学校区で、「自分で自家用車を運転できる」と回答した人の割合が最も高く、次いで「移動したいときに移動できない」と回答した人の割合が高い。
- 哲多は、「自宅からバス停・駅が遠い」と回答した人の割合が他地域と比較して高い。

| | 全体 (n=1006) | 新見第一 (n=373) | 新見南 (n=232) | 大佐 (n=90) | 神郷 (n=73) | 哲多 (n=113) | 哲西 (n=109) |
|------------------|----------------|-----------------|----------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 行きたい場所に運行していない | 16.0% | 10.7% | 17.7% | 14.4% | 20.5% | 14.2% | 31.2% |
| 移動したいときに移動できない | 37.7% | 35.1% | 34.1% | 36.7% | 45.2% | 47.8% | 43.1% |
| 手荷物が多い | 9.2% | 12.1% | 9.9% | 4.4% | 6.8% | 7.1% | 6.4% |
| 運賃が高い | 5.5% | 7.8% | 5.6% | 3.3% | 1.4% | 5.3% | 2.8% |
| 経路や運行時刻が分からない | 5.6% | 6.4% | 3.9% | 2.2% | 6.8% | 7.1% | 5.5% |
| 自宅からバス停・駅が遠い | 20.5% | 19.8% | 21.1% | 13.3% | 21.9% | 24.8% | 19.3% |
| 車両の段差が高く乗降できない | 3.8% | 3.5% | 3.0% | 1.1% | 4.1% | 5.3% | 4.6% |
| 徒歩で移動できる範囲で生活できる | 3.9% | 7.0% | 3.4% | 2.2% | 0.0% | 0.9% | 0.9% |
| 自分で自家用車を運転できる | 75.4% | 75.1% | 78.4% | 78.9% | 68.5% | 74.3% | 77.1% |
| その他 | 8.3% | 8.0% | 6.9% | 11.1% | 11.0% | 8.8% | 6.4% |

⑧ 市営バスと市街地循環バス「ら・くるっと」の満足度（※加重平均値）

- どちらも「運賃」の満足度が最も高く 3.0 を上回っており、「自分が利用したい時間帯の運行状況」の満足度が最も低い。



<加重平均値>

「満足」を5点、「やや満足」4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、重みをつけて算出した平均値

2. 高校生アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査対象

共生高等学校、新見高等学校（南校地・北校地）の1,2年生

② 配布・回収

高校を通じて配布・回収

③ 実施時期

令和3年6月（7月2日回収締切）

④ 調査内容

- 回答者属性（学年、性別、居住地、居住形態、普段の登下校時刻、運転免許の有無等）
- 登校時・下校時の通学方法
- 通学時の路線バスの利用状況（利用回数、乗車・降車バス停、最寄バス停までの距離等）
- 片道通学定期の利用意向
- 今後バスの運行サービスが向上した場合の利用意向
- 鉄道（JR）の利用状況（利用回数、乗車駅、最寄駅までの距離等）
- 平日、放課後の中心市街地での活動について（活動内容、頻度、活動時間、移動手段）
- バスの運行に関する重要度・満足度
- バス、鉄道などに関する意見・要望

⑤ 配布数：395件

⑥ 回収数：350件（回収率88.6%）

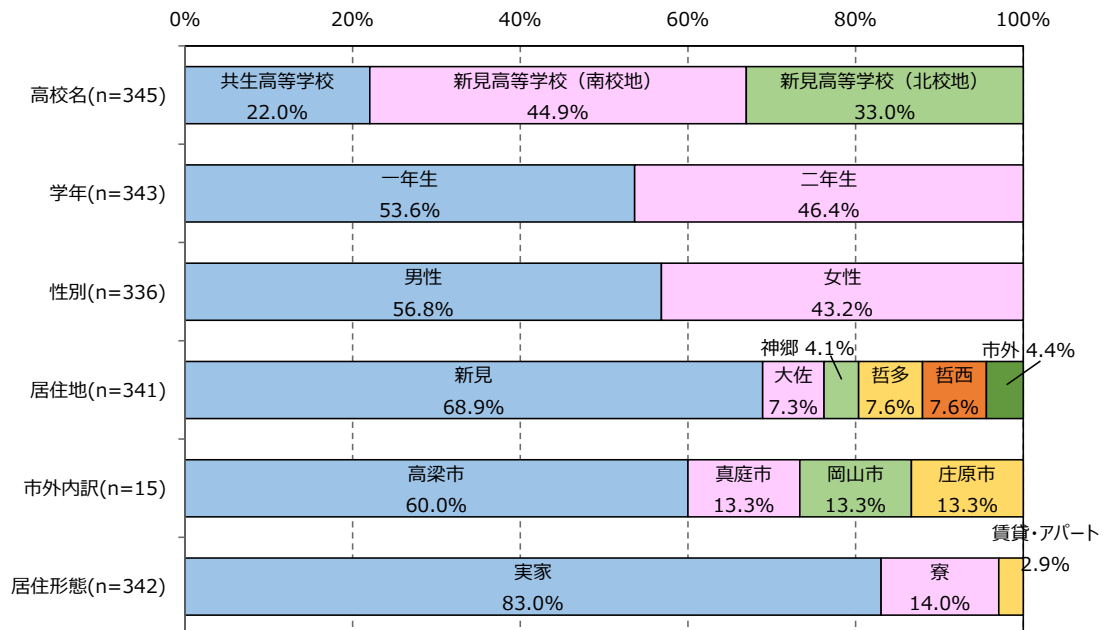
⑦ 集計値の留意点・その他：

- 各項目は未回答を含めずに集計。
- 択一回答、限定複数回答設問における規定数以上の回答、対象者限定設問における対象外の回答は無効として集計。
- 調査結果におけるパーセント表示は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とならない。

(2) 調査結果

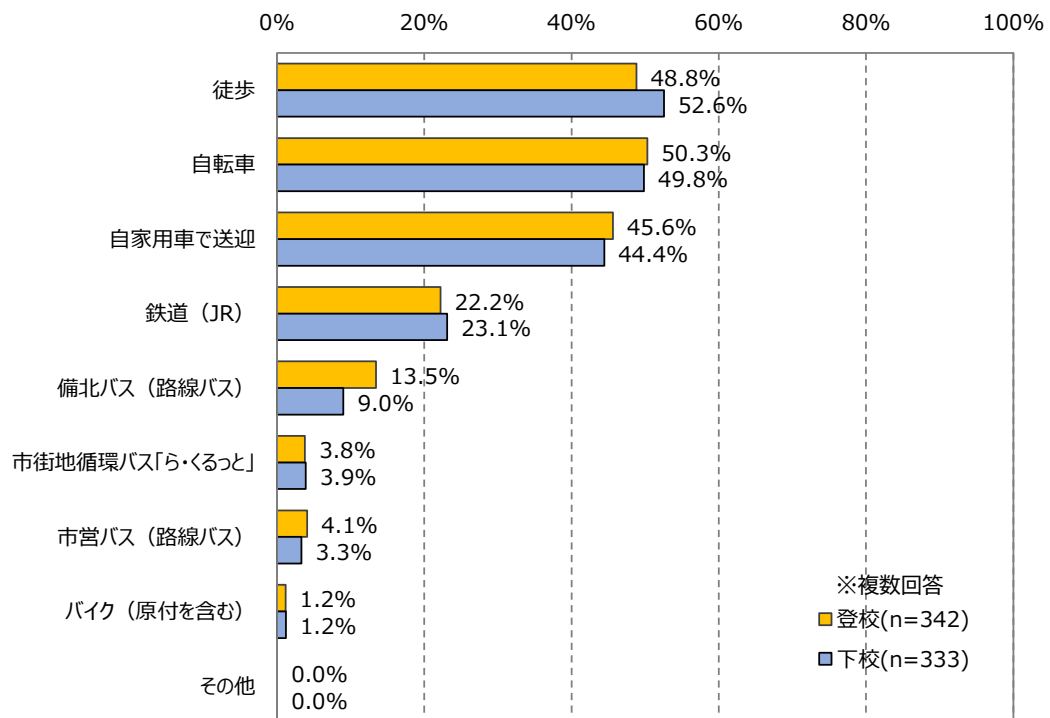
① 回答者の属性

- 68.9%の人が新見地域に居住している。
- 市外から通学する人は4.4%で、居住地は高梁市、真庭市、岡山市、広島県庄原市である。
- 83.0%の人が実家から通学しており、16.9%の人が寮や賃貸・アパートから通学している



② 通学方法

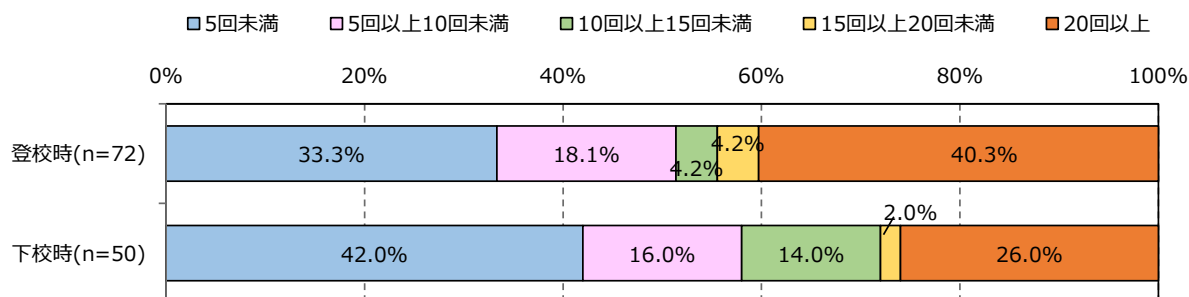
- 40%~50%前後の人が徒歩・自転車・自家用車による送迎を利用している。
- 20%程度の人が鉄道を利用し、10%程度の人が備北バスを利用している。市街循環バス「らくら」と及び市営バスを利用する人は4%程度である。



③ 路線バスでの通学

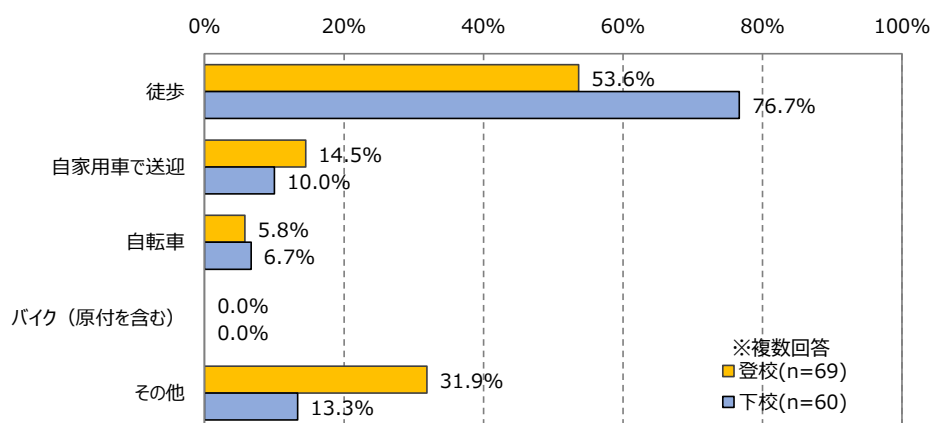
【1 カ月間の平均利用回数】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 登校時は、40.3%の人が20回以上利用すると回答しているが、下校時は26.0%である。
- 登校時・下校時ともに、5回未満及び5回以上10回未満と回答した人の割合が50%を超えている。



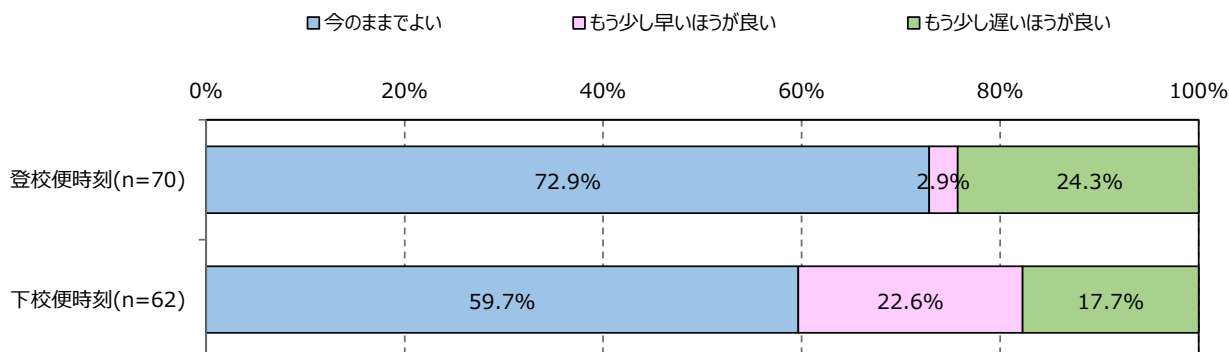
【自宅～バス停の移動手段】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 登校と下校で差があるものの、徒歩で移動する人の割合が最も高い。



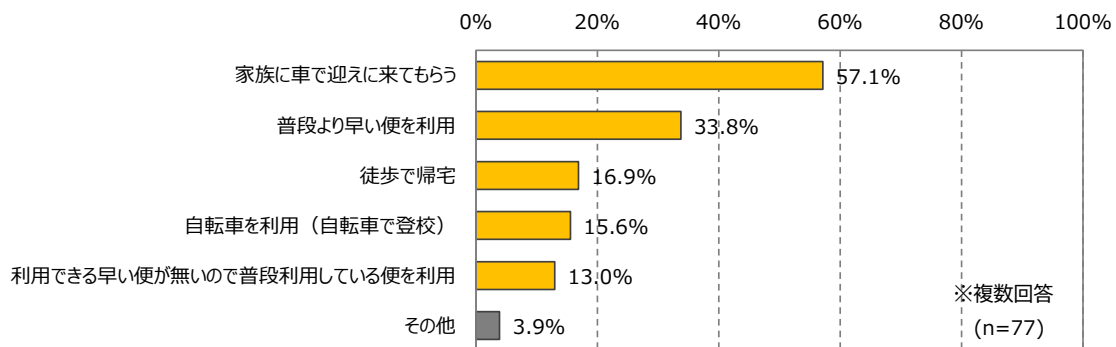
【ダイヤに関する意向】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 登校時は、72.9%の人が今のままで良いと回答する一方、24.3%の人が遅いダイヤを希望している。
- 下校時は、59.7%の人が今のままで良い回答しており、22.6%の人が早いダイヤを希望し、人17.7%の人が遅いダイヤを希望している。



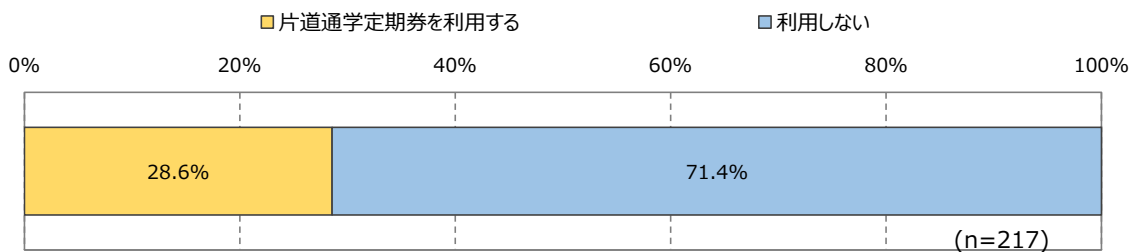
【下校時間が早まった際の下校手段】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 57.1%の人が家族に車で迎えに来てもらうと回答しており、割合が最も高い。
- 次いで、普段より早い便を利用すると回答した人の割合が高く、33.8%である。



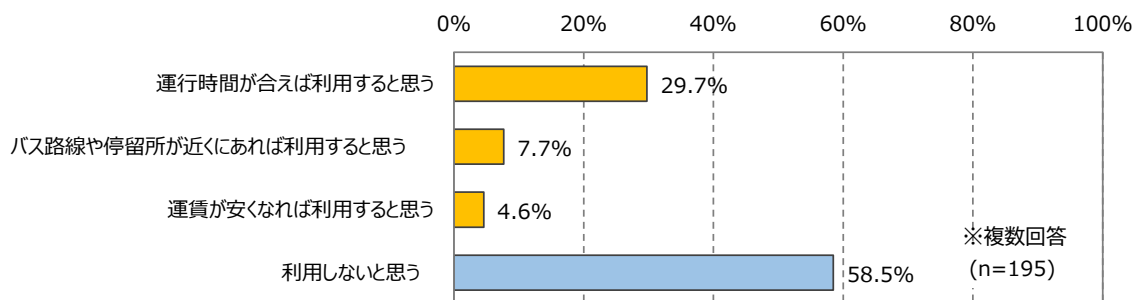
【片道通学定期券があった場合の利用意向】

- 28.6%の人が片道通学定期券を利用すると回答している。



【サービス改善後の利用意向】 ※現在、通学に路線バスを利用していない人のみ回答

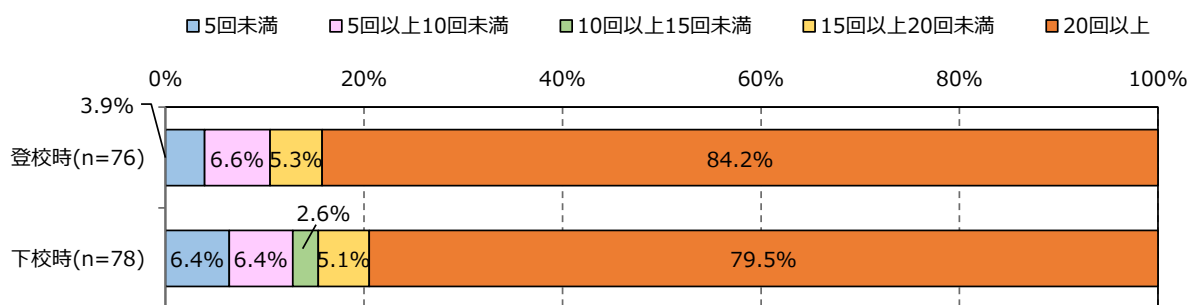
- 29.7%の人が、運行時間が合えば利用すると回答しており、利用意向がある選択肢の中で最も割合が高い。



④ JRでの通学 ※通学方法としてJRを選択した人のみ回答

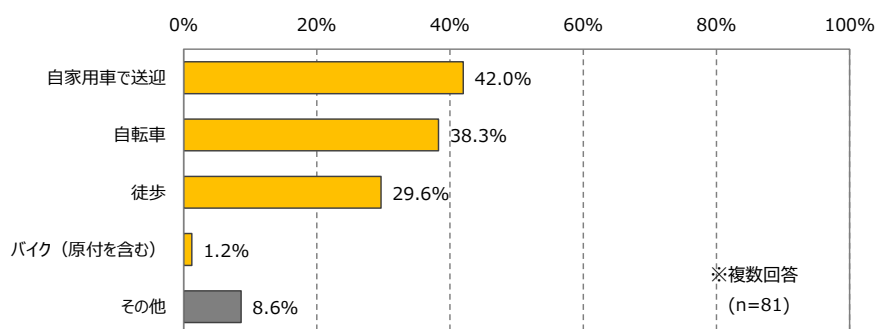
【1ヵ月間の平均利用回数】

- 登校時・下校時ともに、80%程度の人が20回以上利用すると回答している。



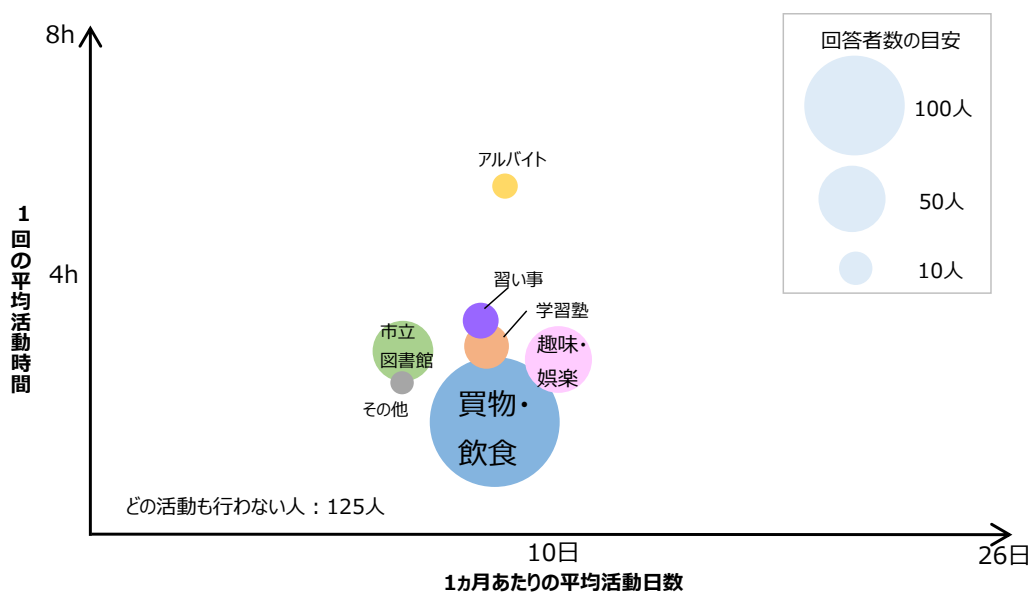
【自宅～駅の移動手段】 ※通学方法としてJRを選択した人のみ回答

- 42.0%の人が、自家用車で送迎によって駅まで移動すると回答している。
- 自家用車で送迎に次いで、自転車で移動する人の割合が高い。



⑤ 平日、放課後の中心市街地での活動

- 買物・飲食を挙げた人が最も多く、次いで趣味・娯楽や市立図書館を挙げた人が多い。1ヵ月あたりの活動日数は趣味・娯楽が他の活動と比べてやや多い。
- 1回の平均活動時間は、アルバイトが最も長い。

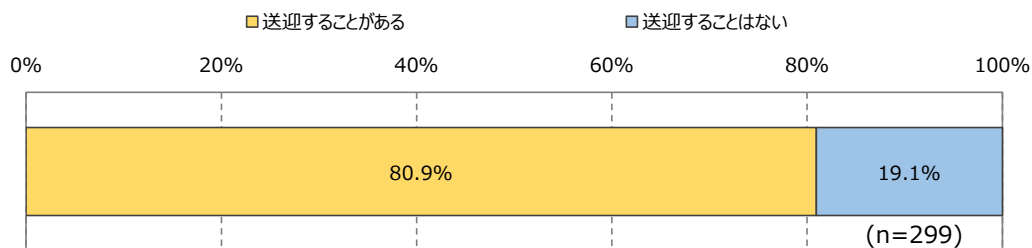


※平均活動時間、平均活動日数は、回答された時間や日数をいくつかの階層に分け、スコア化して算出した加重平均値を使用。

⑥ 保護者による送迎

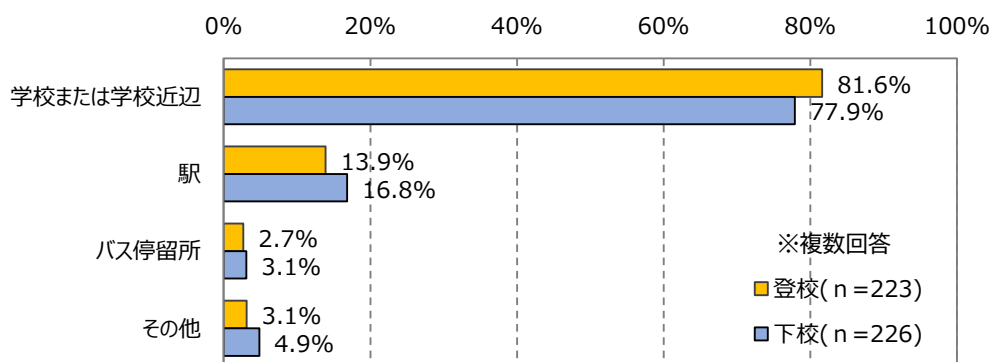
【送迎の有無】

- 80.9%の人が送迎することがあると回答している。



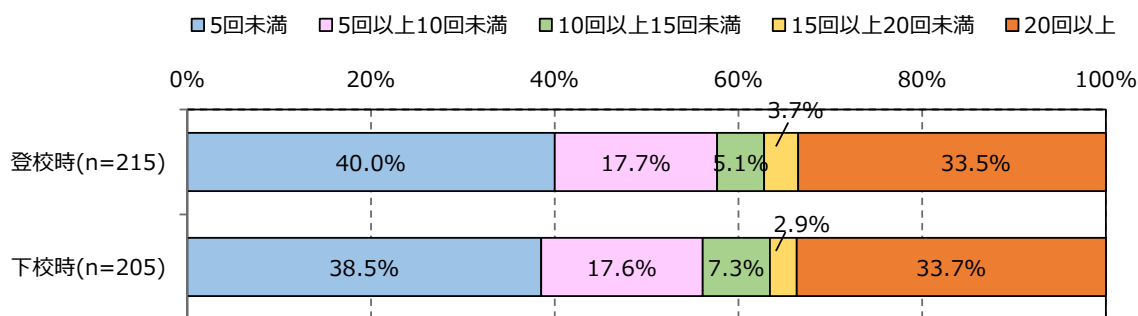
【主な送迎先】

- 学校または学校近辺まで送迎する人の割合が最も高く、80%程度の人が回答している。



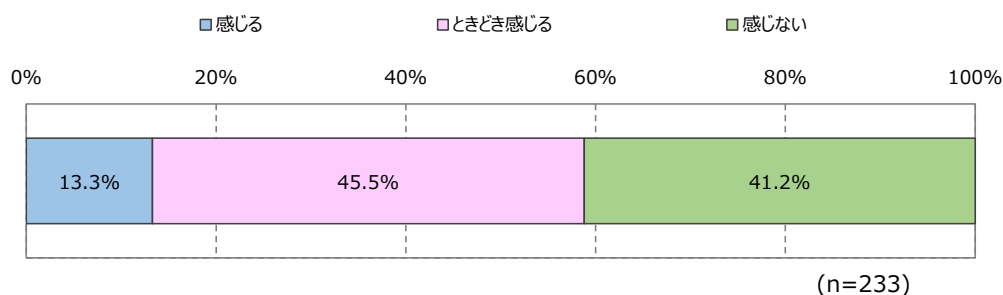
【1 カ月間の送迎回数】

- 登校時・下校時ともに、30%以上の人々が20回以上送迎している。



【送迎の負担感】

- 60%程度の人々が、送迎を負担に感じている。



3. 大学生アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査対象

新見公立大学の1,2年生

② 配布・回収

大学を通じて配布・回収

③ 実施時期

令和3年6月（7月2日回収締切）

④ 調査内容

- 回答者属性（学年、性別、居住地、居住形態、普段の登下校時刻、運転免許の有無等）
- 登校時・下校時の通学方法
- 通学時の路線バスの利用状況（利用回数、乗車・降車バス停、最寄バス停までの距離等）
- 片道通学定期の利用意向
- 今後バスの運行サービスが向上した場合の利用意向
- 鉄道（JR）の利用状況（利用回数、乗車駅、最寄駅までの距離等）
- 平日、放課後の中心市街地での活動について（活動内容、頻度、活動時間、移動手段）
- バスの運行に関する重要度・満足度
- バス、鉄道などに関する意見・要望

⑤ 配布数：390件

⑥ 回収数：296件（回収率75.9%）

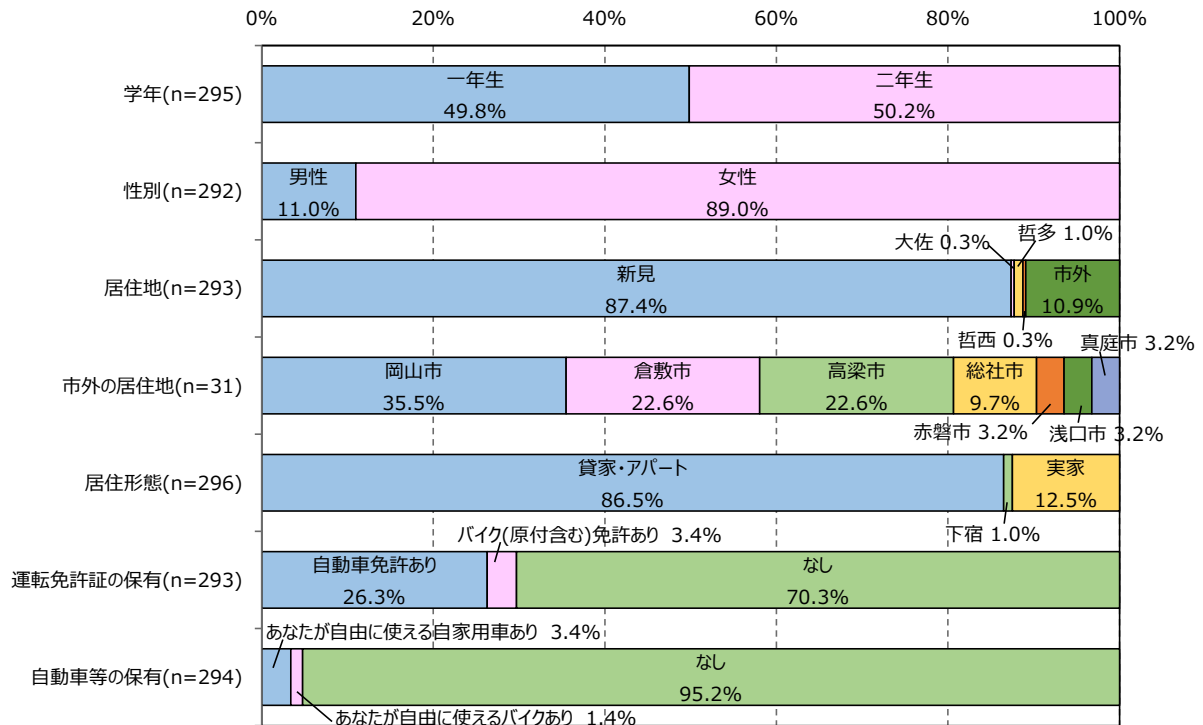
⑦ 集計値の留意点・その他：

- 各項目は未回答を含めずに集計。
- 択一回答、限定複数回答設問における規定数以上の回答、対象者限定設問における対象外の回答は無効として集計。
- 調査結果におけるパーセント表示は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とならない。

(2) 調査結果

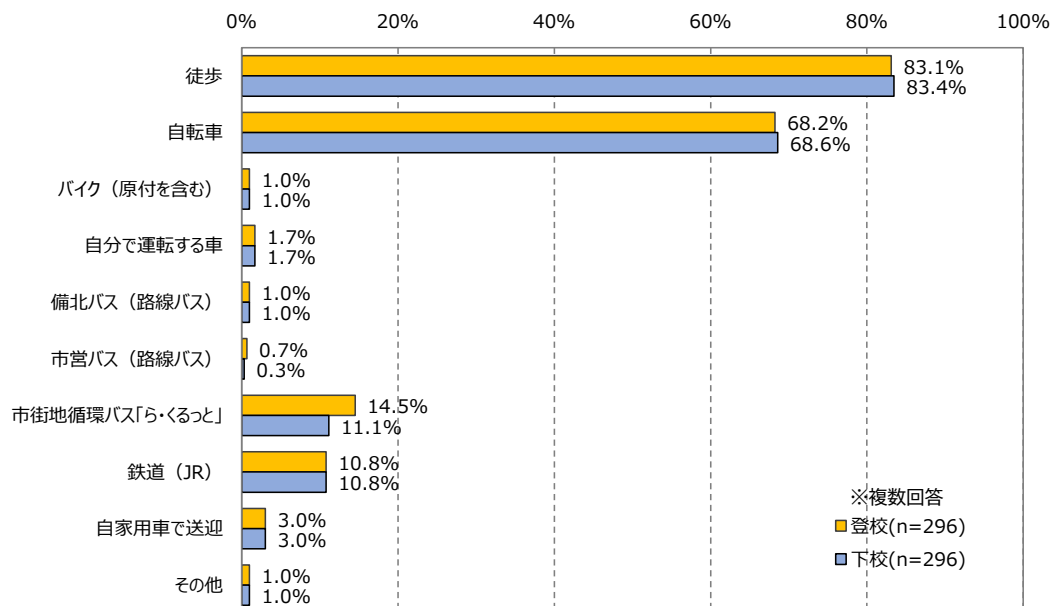
① 回答者の属性

- 回答者の89.0%が女性である。
- 87.4%が新見地域に居住しており、市外から通学する人は10.9%である。
- 30%程度の人が自動車やバイクの運転免許を持っている。
- 5%程度の人が自分が自由に使える車やバイクを持っている。



② 登下校手段

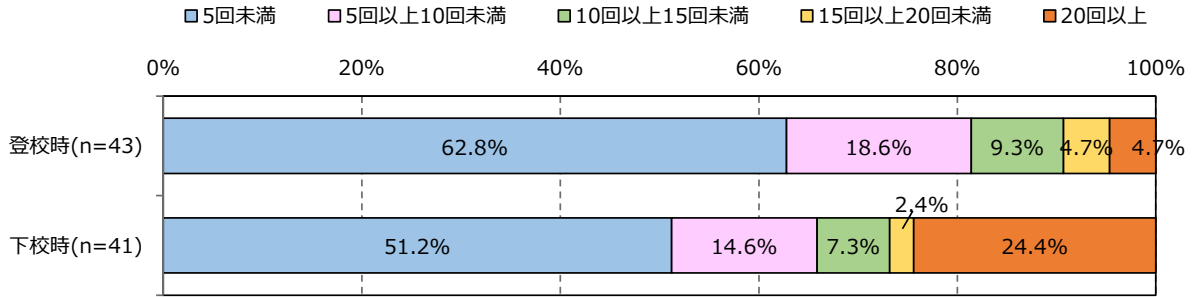
- 83%程度の人が徒歩で通学すると回答しており、割合が最も高い。次いで自転車で通学すると回答した人の割合が高い。
- 10%程度の人が、市街地循環バス「ら・くるっと」や鉄道を利用すると回答している。
- 備北バスや市営バスを利用する人は、1%程度である。



③ 路線バスでの通学

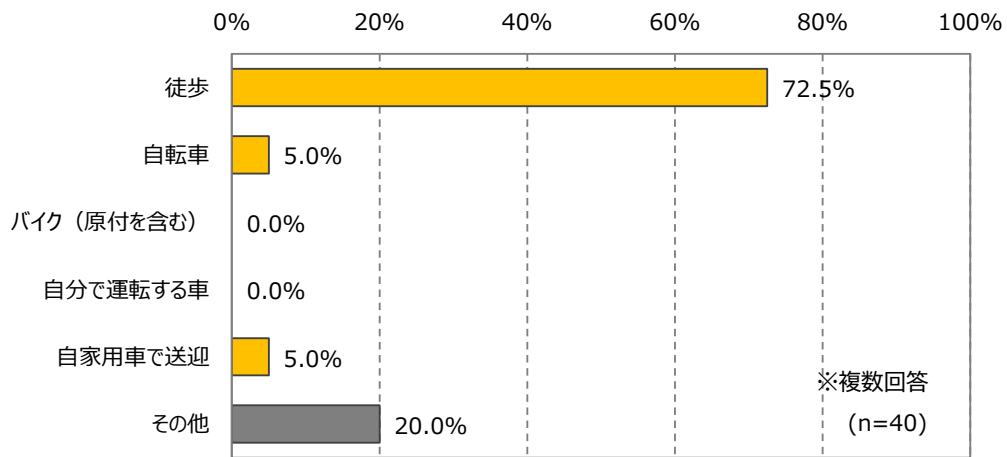
【1ヵ月間の平均利用回数】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 登校時・下校時ともに、50%以上の方が5回未満と回答している。



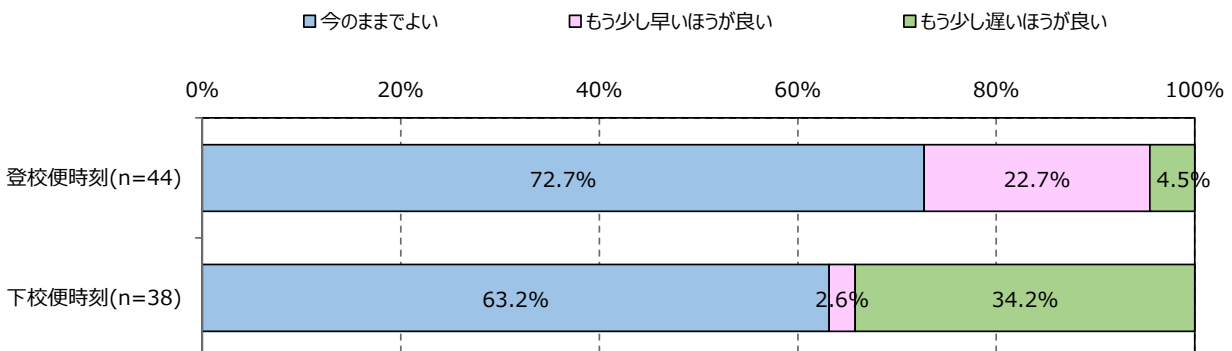
【自宅～バス停の移動手段】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 72.5%の人が徒歩でバス停まで移動すると回答している。



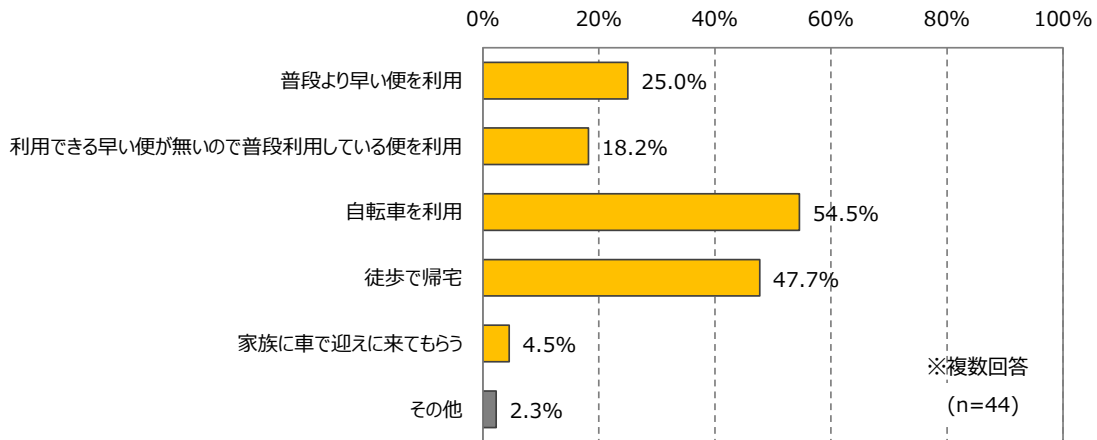
【ダイヤに関する意向】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 登校時は、72.7%の人が今のままで良いと回答する一方、22.7%の人が早いダイヤを希望している。
- 下校時は、63.2%の人が今のままで良いと回答しており、34.2%の人が遅いダイヤを希望している。



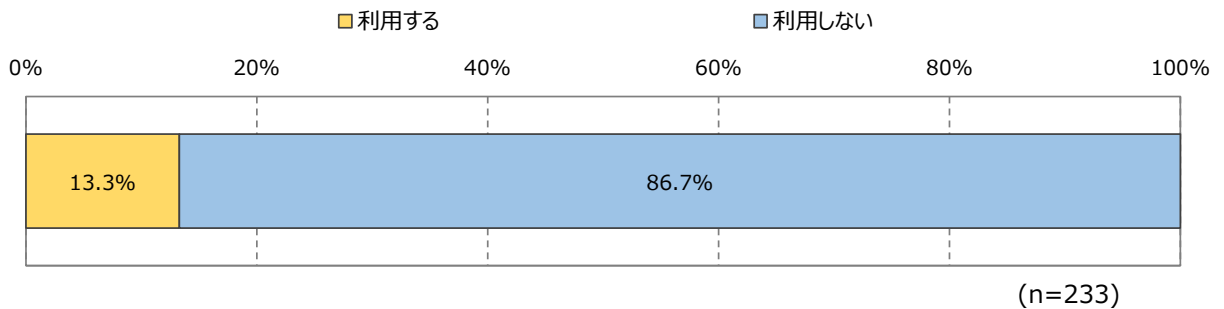
【下校時間が早まった際の下校手段】 ※通学方法として路線バスを選択した人のみ回答

- 徒歩や自転車など、公共交通以外の手段を選択肢する割合が高い。
- 25.0%の人が普段より早い便を利用すると回答しており、18.2%の人が普段利用している便を利用すると回答している。



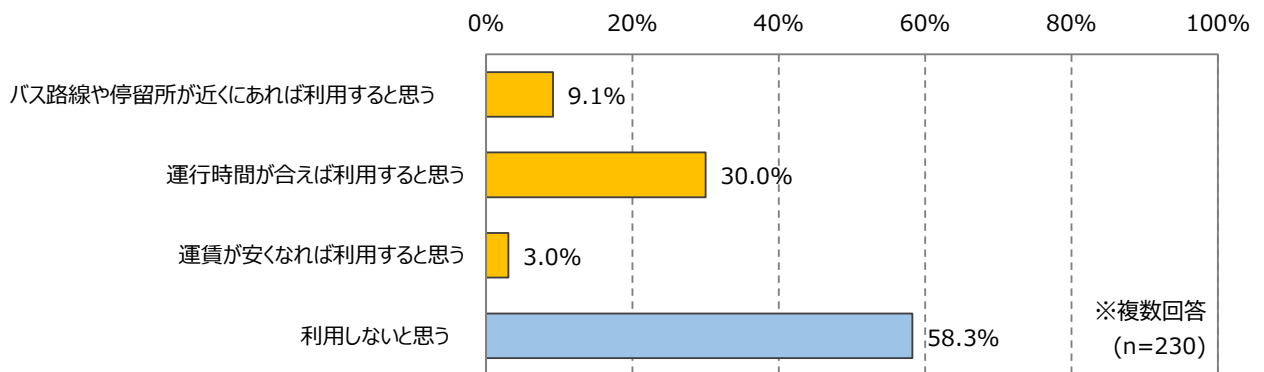
【片道定期券があった場合の利用意向】

- 13.3%の人が、片道定期券があったら利用すると回答している。



【サービス改善後の利用意向】 ※現在、通学に路線バスを利用していない人のみ回答

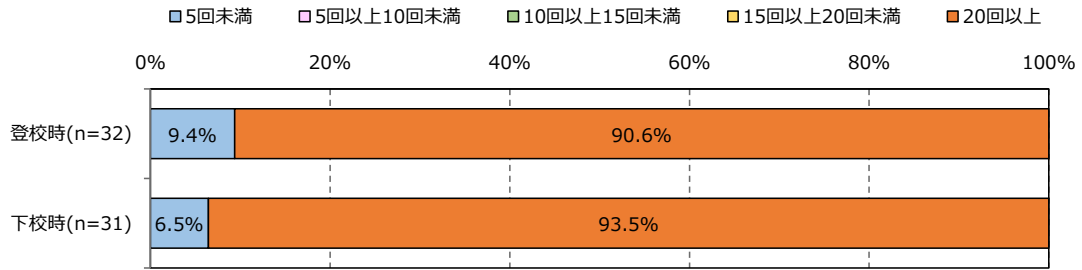
- 30.0%の人が、運行時間が合えば利用すると回答しており、利用意向がある選択肢の中で最も割合が高い。



④ JRでの通学

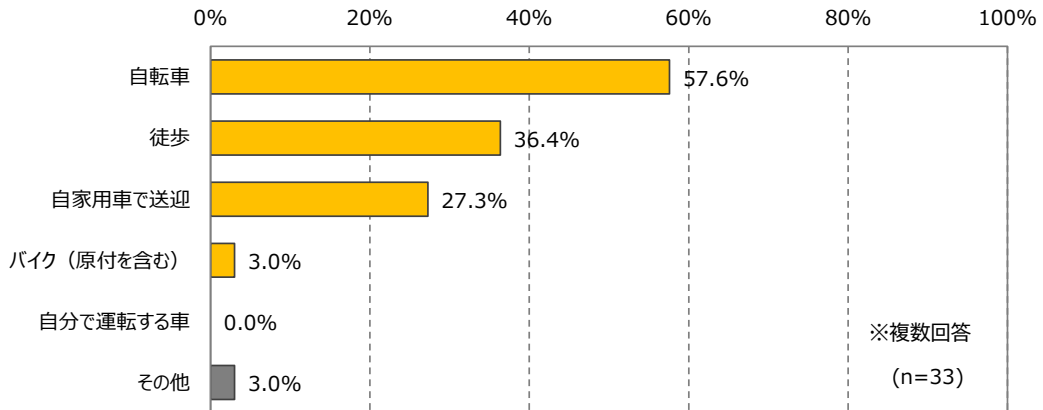
【1カ月間の平均利用回数】 ※通学方法としてJRを選択した人のみ回答

- 登校時・下校時ともに、90%以上の人々が20回以上利用すると回答している。



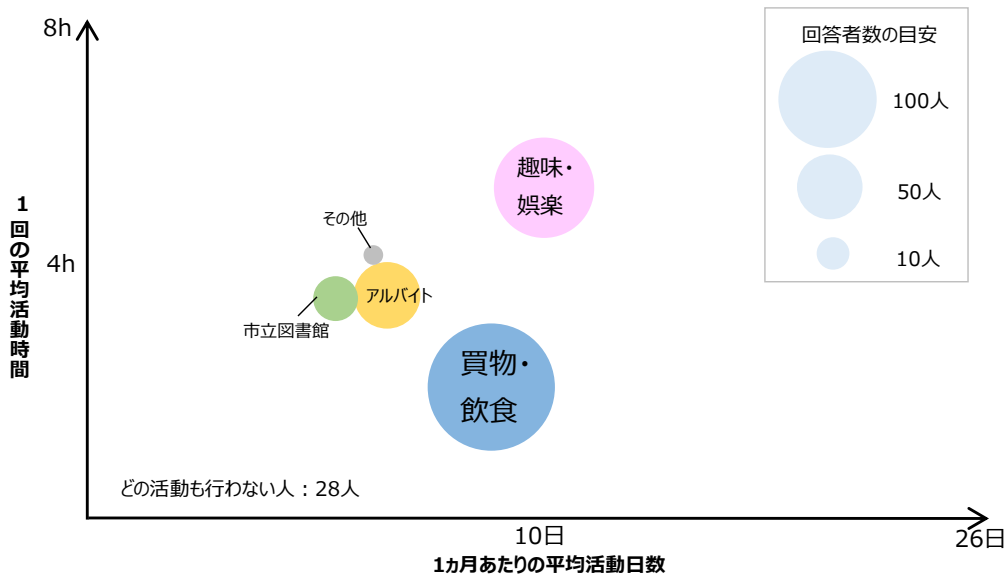
【自宅～駅の移動手段】 ※通学方法としてJRを選択した人のみ回答

- 57.6%の人が自転車で駅まで移動すると回答しており、割合が最も高い。
- 次いで、徒歩、自家用車による送迎を利用する人の割合が高い。



⑤ 平日、放課後の中心市街地での活動

- 買物・飲食を挙げた人が最も多く、次いで趣味・娯楽を挙げた人が多い。これらは、1カ月あたりの活動日数も他の活動と比べて多い。
- 1回の平均活動時間は、趣味・娯楽が最も長い。次いで、アルバイトや市立図書館の利用が長い。



※縦軸の平均活動時間、横軸の平均活動日数は、回答された時間や日数をいくつかの階層に分け、スコア化して算出した加重平均値を使用。

⑥ バスの満足度（※加重平均値）

- 「料金」の満足度が最も高く 4.1 となっている。
- 「運行本数」、「運行のダイヤ」、「最終便の時間」の満足度が、他の項目と比べて低い。

